

◆ あんパンと秋空 ◆

今となっては、いつの時期から「あんパン」が関わるようになったのかは定かではないけれども、本校では折々の節目に「あんパン」が供される。2日に実施した体育祭。天候が危ぶまれたが、午後には絶好の体育祭日和となった。ここにも「あんパン」が登場する。各学年、優勝・準優勝チームの賞品は「あんパン」である。

創立三十周年記念誌『藤朋』を眺めていると、「あんパンを目指して！」というタイトルでの旧職員の寄稿を見つけた。

「（前略）体育行事における賞品はあんパンである。新入生歓迎球技大会では、二・三年生がどうしてこんなに燃えるのか、一年生には理解できず戸惑っていましたが、すぐに「あんパンを目指せ！」の言葉が何処からともなく聞こえてきて、俄然、上級生に対しても遠慮なく挑戦して行きました。熱戦の末、勝ち取ったそのあんパンの味はそれは格別なものだったようです。（後略）」

本校は来年創立50周年を迎えるけれども、すでにこの時期には今のスタイルが確立されていることがわかり、大変興味深く読んだ。

幸いなことに、ここしばらくの間は感染状況が落ち着いており、この中で学校行事が実施できていることを喜ぶたい。体育祭の実施にあたり、昨年以上に先生方には様々な検討をしていただいた。時間帯、種目、感染防止策について等々。昨年に引き続き、接触する競技ではマスク・手袋等着用とした。

そして、最後のフォークダンス。写真撮影のお願いをしている保護者の皆さんが、最前列に動いた。子どもたちが仲良く手を繋いで行進してくる。そして繰り広げられるノスタルジックな“Oklahoma Mixer”、“Korobushka”、“Mayim Mayim”……。本当に心温まる景色だと思う。

気持ちのいい秋空の下、子どもたちの大きな輪が校庭一杯に広がった。

